

関連事業

J R 嵯峨嵐山駅橋上化・自由通路整備

概 要

旧来の JR 山陰本線嵯峨嵐山駅は南片側の地平駅となっており、地域が駅により南北に分断されていました。日本有数の観光地である嵐山・嵯峨野地域の玄関口として、ふさわしい駅舎とするため、南北を結ぶ自由通路の設置と駅舎の橋上化を実施して、駅南北地域の往来を可能にし、利用者の利便性の向上と安全を確保し、地域の活性化を推進するものとして整備しました。

併せて、関連施設として嵯峨嵐山駅北側の駅前広場（国鉄嵯峨駅北通、北口駅前広場、自転車駐車場）の整備も行われました。

経 過

- 平成 1 8 年度 仮駅舎建築及び自由通路準備工事に着手
「JR 嵯峨嵐山駅の自由通路と橋上駅舎のデザイン及び駅周辺施設の整備について」の広報発表
仮駅舎の使用を開始
- 1 9 年度 橋上駅舎及び自由通路の建築、機械、電気工事を実施
- 2 0 年度 橋上駅舎及び自由通路の供用開始
（6 月 1 4 日部分供用、1 1 月 2 1 日全面供用）
嵯峨嵐山駅周辺施設整備事業完成式典（平成 2 1 年 3 月 1 4 日実施）

駅南口全景



